

< 個別案件確認表（東京都） >

東京都担当確認年月日	2021年3月16日
東京都作業部会確認年月日	2021年3月17日

事業名

案件名 エネルギー業務運営及び関連工事監理業務等委託（その3）

確認の視点	東京都の見解	備考
経費の負担が平成29年5月31日の合意の考え方に基づくものであること	<ul style="list-style-type: none"> ・本案件は、大枠の合意に基づくエネルギーのインフラ及び運営費に係るものであり、経費分担については、大枠の合意に基づいていることを確認した。 ・執行見込額は、V5 予算内であることを確認した。 	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること	<ul style="list-style-type: none"> ・組織委員会は、大会においてエネルギー供給に関する責任を持ち、IOC、国、インフラ事業者及び各 FA など、多くの関係者と調整し、コストを縮減しながら準備を進めている。 ・組織委員会は、各 FA が大会中に使用する機器等に対し、確実に電力を供給することが求められている中、電力インフラ、会場内の仮設電源設備及び無停電電源装置の調達等にかかる大会経費について東京都作業部会で確認してきた。 ・本案件は、エネルギー関連工事（発注済みの仮設電源設備整備工事等）の設計監修、工事監理、大会時の業務運営等を一括して、引き続き、東電タウンプランニング株式会社に発注するものである。 ・これまで IOC の大会運営要件に基づき、コストを縮減しながら調整を進め、既に仮設電源設備整備工事や 2019 年 5 月からのエネルギー業務運営及び関連工事監理業務委託の発注を実施し、大会運営を担う組織委員会が継続的に本案件を進めることにより、効率的で連続性のあるサービスの提供が可能となる。 	
経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・本案件は、開催都市契約大会運営要件のエネルギー要件に確実に対応するために必要であり、整備工事や業務運営のスケジュールを考慮し、今般発注が必要であることを確認した。 	開催都市契約大会運営要件 NRG04～08

<p>(適正な規模、単価かなど)、納得性(類似のものと比較して相応かなど)等の観点から妥当なものであること</p>	<p>効率性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発注額について、以下の内容を確認した。 <ol style="list-style-type: none"> ① 発注額は、東電タウンプランニング株式会社の見積りを採用。都の基準(設計等委託料積算標準(令和2年4月東京都財務局))に基づく試算と比較し、試算以下であることで妥当性を確認。 ② 要員計画は、会場の配置計画や整備工事の工程を踏まえ、IOCと協議し、決定。これまで、IOC推奨要員に対して精査、削減し、必要な規模に抑制。 ③ 直接人件費の人工は、過去の委託実績を基に委託する業務規模を抑制したうえで、2021年4月から2021年12月の間に委託する業務に必要な人工を積み上げ。 ④ 直接人件費の単価は、設計業務委託等技術者単価(国土交通省)を採用。 	
	<p>納得性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで組織委員会は、大会時のエネルギー供給に向けてIOCと要件緩和の調整や適宜設計の見直しを行い、コスト削減に努め、進めてきている。 ・本案件は、開催都市契約大会運営要件のエネルギー要件に確実に対応するために必要であり、その発注額の妥当性について確認した。 ・引き続き、本案件により、仮設電源費用等を抑制し、エネルギー費用全体のコスト削減を図っていただきたい。 ・調達部での交渉を通じ、さらなるコストの削減に努めていただきたい。 	
<p>その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・V5予算に収まっていることを確認した。引き続き、経費が最小限のものとなるよう抑制・削減に取り組むこと。 ・大会開催都市としての責任を持つ東京都が大枠の合意に基づき確認した結果、本事業の経費を公費で負担することは適切と考えられる。 	

*公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。